



Grande retrospettiva del cinema italiano: dal muto agli anni 80

日本における
イタリア年

イタリア映画大回顧

映画大国イタリアの全貌

サイレントから80年代まで55本を上映

マルチェロ・マストロヤンニ、アンナ・マニャーニ、ソフィア・ローレン、シルヴァーナ・マンガーノ、
モニカ・ヴィッティ、クラウディア・カルディナーレ、ステファニア・サンドレッリ…

2001年11月13日(火)～2002年2月24日(日)

東京国立近代美術館フィルムセンター

主催:東京国立近代美術館フィルムセンター、朝日新聞社、チネテカ・ナチオナーレ 後援:イタリア大使館、イタリア文化会館、日本におけるイタリア年財団
助成:国際交流基金 協賛:イタリア・ラボロ銀行 協力:アテネ・フランセ文化センター <http://www.asahi.com/event/italia/cineteca>

上映作品解説



3-b 「灰」
(1916年・サイレント・46分)
Genere

監督/フェボ・マリ
出演/エレオノーラ・ドゥーゼ、
フェボ・マリ
当時の舞台女優として最も評価の高かったエレオノーラ・ドゥーゼが出演した唯一の映画作品で、サルデーニャの貧しい村を背景に母の愛情を描いた傑作。



6 「聖なる夜に」
(1922年・日本未公開・サイレント・61分)
'A santanotte

監督/エルヴィラ・ノターリ
出演/ロセ・アンジオーネ、
アルベルト・ダンツァ
当時の同名の流行歌をもとに作られたサイレント期「ナポリ映画」の典型的な作品。二人の男に愛されたメイド、ナンニネラの悲劇が描かれる。女性監督ノターリの情緒あふれる一篇。



10 「かしこまりました」
(1942年・日本未公開・90分)
Sissignora

監督/フェルディナンド・M・ボッジョーリ
出演/マリア・デニス、レオナルド・コルテ
ーゼ、エンマ・グラマティカ
故郷からジェノヴァへ出てきた貧しい娘が、メイドとしてあちこちの家を転々とするが、最後に伝染病をうつされて病院の大部屋で息を引き取る。40年代に活躍したボッジョーリの詩的一篇。2001年復元。



1 「ざれどわが愛は死なず」
(1913年・日本未公開・サイレント・84分)
Ma l'amor mio non muore!

監督/マリオ・カゼリーニ
出演/リダ・ボレリ、
マリオ・ボナール
自殺した軍人の娘で今は人気女優となった娘と大公国の皇太子の悲恋。イタリア映画の最初の「ディーヴァ」、リダ・ボレリ主演のメロドラマ。ミラノのチネテカ・イタリアーナ所蔵プリントを上映。



4 「王家の虎」
(1916年・サイレント・77分)
Tigre reale

監督/ジョヴァンニ・バストローネ
原作・脚本/ジョヴァンニ・ヴェルガ
出演/ビーナ・メニケリ、アルベルト・ネボ
ーティ、フェボ・マリ
パリ。あるパーティで大使のジョルジヨは、美しいボルコンスキ伯爵夫人に恋をするが、彼女には悲しい過去があった。1993年にトリノ映画博物館が復元した彩色版。



7 「いつまでも君を愛す」
(1933年・日本未公開・73分)
T'amerò sempre

監督/マリオ・カメリーニ
出演/エルサ・デ・ジョルジ、
ニーノ・ベソツツィ
若い貴族に誘惑されて棄てられた娘が、有名な美容院に勤め口を見つける。そんな彼女に内気な会計士が思いを寄せるが、突然かつての愛人が現れる…。43年にカメリーニ自身によってリメイク。



11 「アルファ・タウ!」
(1942年・日本未公開・96分)
Alfa Tau!

監督/フランチェスコ・デ・ロベルティス
出演/潜水艦エンリコ・トーティ号の乗組員
海軍省の依頼で潜水艦に乗り込んだ水兵や士官の日々を、素人の俳優たちを使って描写した作品。ロッセリーニと共同監督の「白い船」と共に、戦争の悲惨さを示したネオレアリズモの先駆的傑作と言われる。2001年復元。



2 「カブリア」
(1914年・サイレント・162分)
Cabiria

監督/ジョヴァンニ・バストローネ
出演/レティツィア・クランタ、バルトロメオ・
パーガノ、ウンベルト・モツァート、イ
タリア・アルミランテ・マンツィーニ
紀元前3世紀のローマとカルタゴの戦いを背景としたスペクタクル史劇の超大作。グリフィスの「イントレランス」にも影響を与えた。1995年トリノ映画博物館による復元版。



5-a 「妻たちとオレンジ」
(1917年・日本未公開・サイレント・60分)
Le mogli e le arance

監督/ルイジ・セルヴェンティ
監修・脚本/ルーチョ・ダンブラ
出演/ルイジ・セルヴェンティ、
ミーラ・テッリ
田舎に静養に出かけたマルチェロが、理想の妻に出会うまでを描いたルビッチばりの喜劇。2001年オーストリア・フィルム・アーカイヴの協力で復元。



8 「ナポリのそよ風」
(1937年・86分)
Il Signor Max

監督/マリオ・カメリーニ
出演/ヴィットリオ・デ・シーカ、
アッシュャ・ノリス
ローマのヴェネト街の新聞売りは貴族の世界にあらがれていたが、偶然貴族の御書司に間違えられたことから二重生活が始まる。近年再評価の著しいカメリーニの秀作。ヴェネチア映画祭国民文化賞受賞。



12 「マロンブラ」
(1942年・日本未公開・135分)
Malombra

監督/マリオ・ソルダーティ
出演/イザ・ミランダ、
アンドレア・ケッキ
叔父に引き取られた、身寄りのない侯爵令嬢マリナ。その叔父は彼女に、結婚するまでコモ湖畔の豪華な別荘を出てはならぬと命じる。メロドラマの巨匠ソルダーティの代表作。2000年復元。



3-a 「アッスンタ・スピーナ」
(1915年・サイレント・73分)
Assunta Spina

監督/グスタヴォ・セレーナ
出演/フランチェスカ・ベルティエーニ、
グスタヴォ・セレーナ、
カルロ・ベネッティ
ナポリの若く美しい娘が、罪を犯した恋人のために自らを犠牲にする。悲劇を得意とするサイレント時代最高の人気女優、ベルティエーニの代表作。1993年にポローニヤ市立チネテカが復元した彩色版。



5-b 「大女優チカラ・フォルミカ」
(1920年・日本未公開・サイレント・32分)
L'illustre attrice Cicala Formica

監督/ルーチョ・ダンブラ
出演/リア・フォルミア、
ウンベルト・ザンコリ
映画女優をめざす若い女性が映画に出演するまでを描く喜劇。映画初期の雰囲気がある貴重な一本。イタリア映画史研究協会の協力を得て、チネテカ・ナチオナレが彩色を行った版。



9 「サルヴァトル・ローザの冒険」
(1940年・日本未公開・92分)
Un'avventura di Salvatore Rosa

監督/アレッサンドロ・ブラゼッティ
出演/ジーノ・チェルヴィ、
リーナ・モレリ
17世紀、スペイン支配下のナポリ王国を舞台に、画家にして剣客であるサルヴァトル・ローザの活躍を描いた歴史劇。カメリーニと並ぶ30年代の巨匠ブラゼッティの代表作。2001年復元。



13 「慈悲なき世界」
(1948年・日本未公開・90分)
Senza Pietà

監督/アルベルト・ラットウアーダ
出演/カルラ・デル・ボッジョ、
ジョン・キッツミラー、
ジュリエッタ・マシーナ
終戦直後のリヴォルノで、行方分からない弟を捜す姉アンジェラ。しかし彼女を待ち受けていたのはあまりにも非情な世の中だった。さまざまなジャンルで活躍したラットウアーダのネオレアリズモ作品。



14 「神秘の騎士」
(1948年・日本未公開・95分)
Il cavaliere misterioso

監督/リッカルド・フレダ
出演/ヴィットリオ・ガスマン、
マリア・メルカデル
亡命生活を送っていたカサノヴァは兄弟を救うために危険を冒して帰郷し、無罪を証明して再び発って行く。初めての主演作品でカサノヴァを演じたガスマンの出世作。2001年復元。



18 「春が来た」
(1950年・日本未公開・86分)
E'primavera...

監督/レナート・カステラーニ
出演/マリオ・アンジェロツィ、
エレナ・ヴァルツィ
トスカーナ出身の若い兵士ベッペはシチリアで地元の娘と結婚するが、転属先のミラノでも別の女性を愛し、重婚罪で訴えられてしまう。その混乱の結末は…。"バラ色のネオレアリズム"の代表作。2000年復元。



22 「ミラノの奇蹟」 (1951年・96分)
Miracolo a Milano

監督/ヴィットリオ・デ・シーカ
出演/フランチェスコ・ゴリサーノ、
フルネツラ・ポーヴォ、
エンマ・グラマティカ、
バオロ・ストツバ
人のいい孤児トトは、町外れの広場にホームレスたちのユートピアを作ろうとするが…。リアリズムにファンタジーが加わった秀作。カンヌ映画祭グランプリ、審査員特別賞受賞。



24 「ウンベルトD」
(1952年・89分)
Umberto D.

監督/ヴィットリオ・デ・シーカ
出演/カルロ・パッティスティ、
マリア・ピア・カジリオ
年金生活を送る退職官吏の老人が、アパートの立ち退きを命じられて途方に暮れる。全員を素人が演じている。脚本のザヴァッティニとのコンビが最も成功したといわれるデ・シーカの名作。



15 「トトのイタリア自転車レース」
(1948年・日本未公開・74分)
Totò al giro d'Italia

監督/マリオ・マトーリ
出演/トト、イザ・バルツィツァ
美女ドリアーナに恋したトト教授は、自転車レースで優勝したら結婚してもいいと彼女に言われる。自転車が苦手なトトは、優勝するために悪魔に魂を売ってしまう。イタリアで最も有名な喜劇役者トトの代表作。1998年復元。



19 「神の道化師、フランチェスコ」
(1950年・85分)
Francesco giullare di Dio

監督/ロベルト・ロッセリーニ
出演/ナザリオ・ジェラルディ、
アルド・ファブリーツィ
中世の聖フランチェスコと修道士たちの平和な共同生活を10のエピソードで描いた歴史物の名作。登場人物全員を実際の修道士が演じた。ニュープリント。

Grande retrospettiva del cinema

日本におい

イタリア映

映画の神に嘉された

ニュープリントや最新復元版でた



16 「にがい米」 (1949年・109分)
Riso amaro

監督/ジュゼッペ・デ・サンティス
出演/シルヴァーナ・マンガノ、
ラフ・ヴァローネ、
ヴィットリオ・ガスマン
北イタリアの水田地帯を舞台に、犯罪に巻き込まれる女性季節労働者の姿を描いたネオレアリズム映画の秀作。日本公開当時、主演女優マンガノの放つエロティシズムが話題となった。1998-2000年復元。



20 「ある愛の記録」
(1950年・日本未公開・102分)
Cronaca di un amore

監督/ミケランジェロ・アントニオーニ
出演/ルチア・ボゼー、
マッシモ・ジロツティ
ミラノの実業家の若く美しい妻が、かつての愛人とよりを戻し、夫の殺害を計画する。アントニオーニは記念すべき長編デビュー作において現代のブルジョアの不条理な愛を描き、自らのスタイルを打ち立てた。



17 「沼の上の空」
(1949年・日本未公開・107分)
Cielo sulla palude

監督/アウグスト・ジェニーナ
出演/イネス・オルシーニ、
マウロ・マッテウチ
ローマ南東部のポンティネーノ地帯で若い娘が暴行され殺害される。彼女は息を引き取る前に殺人者を許すが…。1910年代から活躍したジェニーナ監督の戦後の代表作。ヴェネチア映画祭最優秀作品賞受賞。2001年復元。



21 「寄席の脚光」
(1950年・日本未公開・98分)
Luci del varietà

監督/アルベルト・ラットウアーダ、
フェデリコ・フェリーニ
出演/ベッピネ・デ・フィリッポ、
カルラ・デル・ポッジョ、
ジュリエッタ・マシーナ
中年の旅芸人が芸人志望の若い娘にさんざん翻弄されたあげく、最後には気のいい婚約者のもとに戻る。名匠ラットウアーダと組んだ、フェリーニの監督デビュー作。



23 「ベリッシマ」
(1951年・113分)
Bellissima

監督/ルキーノ・ヴィスコンティ
出演/アンナ・マニャーニ、
ヴァルテル・キアーリ
チネチッタ撮影所が子役の少女を公募することになり、気丈な母親は自分の子供をスターにしようとする。ヴィスコンティがマニャーニの魅力を最大限に引き出した作品。フィルムセンター収蔵プリントを上映。



25 「高校三年」
(1953年・103分)
Terza Liceo

監督/ルチアーノ・エンメル
出演/ジュリア・ルビーニ、
イザベッラ・レーディ
ローマの高校の学生たちの不安や悩み、家族や教師との関係、そして恋愛を描いた学園もの。アート・ドキュメンタリーの巨匠エンメルの若き日の作品で、日本でも主題歌「デリカード」と共に大ヒットした。



26 「**こんなに悪い女とは**」
(1954年・日本未公開・96分)
Peccato che sia una canaglia
監督/アレッサンドロ・ブラゼッティ
原作/アルベルト・モラヴィア
出演/ヴィットリオ・デ・シーカ、ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤニ
20歳のソフィア・ローレン演じる美人の泥棒と、彼女を更生させるために結婚を決意するローマのタクシー運転手(マストロヤニ)を描いた喜劇。2001年復元。



28 「**産**」
(1955年・113分)
Il bidone
監督/フェデリコ・フェリーニ
出演/プロドリク・クロフォード、リチャード・ベイスハート、ジュリエッタ・マシーナ
貧しい庶民から金を巻き上げる初老の詐欺師が、娘の学費を稼ごうと最後のヤマに賭けるが…。原題は俗語で「詐欺」の意味。1955年のヴェネチア映画祭での公開と同じ完全版を上映。



30 「**わらの男**」
(1958年・108分)
L'uomo di paglia
監督/ビエトロ・ジェルミ
出演/ビエトロ・ジェルミ、ルイーザ・デッラ・ノーチェ
アンドレアとルイーザは10年来の仲の良い夫婦だが、妻が息子と旅に出た間に、アンドレアには若い恋人ができてしまう。「鉄道員」で知られるジェルミの監督・主演作。



34 「**ヘラクレスの復讐**」
(1960年・87分)
La vendetta di Ercole
監督/ヴィットリオ・コッタファルーヴィ
出演/マーク・フォレスト、プロドリク・クロフォード
スペクタクル史劇の巨匠コッタファルーヴィが、隣国の王の侵略をはね返す英雄ヘラクレスの活躍を描いた傑作。かつて英語版が「豪勇ゴライアス」として日本公開された。ニュープリント。

italiano: dal muto agli anni 80

イタリア年

画大回顧

才監督たちの足跡を、 見る、イタリア映画史百年の総決算

- 日本公開された作品は、当時の題名を使用しています。
- 番組の1～6までは無声映画で、ピアノ伴奏が付きます。これはフィルムセンターの恒例企画「シネマの冒険 聞と音楽」が、「イタリア映画大回顧」に一部として組み込まれたものです。この無声映画上映にかぎり、定員は300名となります。ピアニストは、イタリアからアントニオ・コッポラ、ステファノ・マッカーニョの両氏を招聘する予定です。
- 上映作品のうちフィルムセンター所蔵の「ベリッシマ」及び「シシリーの黒い霧」以外は、イタリアから来るプリントを上映予定です。特記した作品以外はチネテカ・ナチオナーレのプリントです。イタリア側の都合で記載された作品が上映できない可能性があります。
- 記載した上映分数は、当日のものとは異なる場合があります。
- フィルムの状態や色彩、音声がか不完全な場合があります。



31 「**情事**」
(1960年・136分)
L'avventura
監督/ミケランジェロ・アントニオーニ
出演/モニカ・ヴィッティ、ガブリエーレ・フェルゼッティ
失踪した恋人を捜して旅を続けるサンドロとクラウディアは、いつしか愛し合うようになる。60年代イタリア映画の黄金時代を象徴する傑作の一つ。カンヌ映画祭審査員特別賞受賞。2001年復元。



35 「**シシリーの黒い霧**」
(1961年・124分)
Salvatore Giuliano
監督/フランチェスコ・ロージ
出演/ビエトロ・カンマラータ、フランク・ヴォルフ
戦後のシチリア独立運動を背景に、盗賊サルヴァトーレ・ジュリアーノの謎の死を描いた社会派映画。ヘルリン映画祭銀熊賞。フィルムセンター所蔵プリントを上映。



32 「**血ぬられた墓標**」
(1960年・84分)
La maschera del demonio
監督/マリオ・バーヴァ
原作/ニコライ・ゴゴリ
出演/ローバラ・スティール、ジョン・リチャードソン
19世紀の東欧で魔術を使ったために処刑された王女の復活と復讐を描いた、イタリア・ホラー映画の伝説的巨匠バーヴァの名作。2001年復元。



36 「**虎にまたがって**」
(1961年・日本未公開・107分)
A cavallo delle tigre
監督/ルイジ・コメンチーニ
出演/ニーノ・マンフレディ、マリオ・アドルフ、ジャン・マリア・ヴォロンテ
監獄から脱走したジャチントは、貧しい一家を救うために自分を警察に通報させ、その懸賞金を与えようとする。イタリアの庶民生活を好んで描いた名匠コメンチーニの知られざる秀作。



27 「**白い天使**」
(1955年・日本未公開・98分)
Angelo bianco
監督/ラッファエロ・マタラッツォ
出演/アメデオ・ナッツァーリ、イヴォンヌ・サンソン
愛する妻に先立たれたエンジニアが、列車で偶然妻とそっくりな女性に出会って結婚するが、新妻には思いがけない悲劇が待ち受けていた。メロドラマの大家マタラッツォの代表作。2000年復元。



29 「**現代の英雄**」
(1955年・日本未公開・89分)
Un eroe dei nostri tempi
監督/マリオ・モニチェリ
出演/アルベルト・ソルディ、ジョヴァンナ・ラッリ
ある陰謀の張本人とされたローマのサラリマンの不安と苦悩を描いたコメディ。“イタリア式喜劇”の名匠モニチェリが喜劇役者アルベルト・ソルディを起用した代表作。1999年復元。



33 「**イタリア万歳**」
(1960年・日本未公開・129分・カラー)
Viva l'Italia
監督/ロベルト・ロッセリーニ
出演/レンツォ・リッチ、パオロ・ストッパ、ジョヴァンナ・ラッリ
19世紀、イタリア統一戦争の英雄ガリバルディ將軍のシチリアとナポリ解放の戦いを描いた歴史ドラマ。ロッセリーニが歴史物へ向かう分岐点となる重要な作品。同時代を描いた「山猫」との比較も興味深い。2001年復元。



37 「**鞆を持った女**」
(1961年・121分)
La ragazza con la valigia
監督/ヴァレリオ・スルリーニ
出演/クラウディア・カルディナーレ、ジャック・ペラン
兄に棄てられたアイーダに心を寄せる弟ロレンツォ。互いに愛し合いながらロレンツォのために別離を決意するアイーダ。イタリアの“ヌーヴェル・ヴァーグ”的作品。ニュープリント。



38 「オルゴソロの盗賊」

(1961年・日本未公開・95分)

Banditi a Orgosolo

監督/ヴィットリオ・デ・セータ

出演/ミケレ・コスツ、

ベッパドゥ・ウック

無実でありながら、家畜泥棒と憲兵殺害事件の犯人と疑われた羊飼いが盗賊になってゆく様を、サルデーニャ島の荒々しい自然の中に描く。1961年ヴェネチア映画祭新人賞。2001年復元。



42 「猿女」

(1964年・日本未公開・94分)

La donna scimmia

監督/マルコ・フェッレーリ

出演/ウーゴ・トニッツィ、

アニー・ジラルド

市で見せ物をしている男が、全身が毛に覆われた女に出会い、彼女を使って猿のストリップ・ショーを思いつく。当時イタリアでは短縮版が公開されたが、今回は完全版ニュープリントを上映。



46 「続・夕陽のガンマン」

(1966年・174分・カラー)

Il buono, il brutto, il cattivo

監督/セルジオ・レオーネ

出演/クリント・イーストウッド、イーライ・ウォラック、リー・ヴァン・クリーフ

南北戦争末期、200万ドルの金をめぐる三人の流れ者の活躍を描いたマカロニ・ウェスタンの秀作。公開当時は英語版だったが、今回は日本で初めてイタリア語版を上映する。2000年復元。



50 「労働者階級は天国に入る」

(1971年・日本未公開・115分・カラー)

La classe operaia va in paradiso

監督/エリオ・ペトリ

出演/ジャン・マリア・ウォロンテ、

マリアンジェラ・メラート

事故で指を失って人が変わった労働者ルルは、無期限ストを宣言して解雇される。妻にも見捨てられた彼は、再び雇用されたものの狂気を帯び始める。カンヌ映画祭グランプリ受賞。ニュープリント。



39 「追い越し野郎」

(1962年・108分)

Il sorpasso

監督/ティエノ・リージ

出演/ヴィットリオ・カスマン、ジャン＝ルイ・

トランティニャン、カトリーヌ・スパーク

性格が正反対の中年男と学生が、初対面でドライブをすることになるが、その帰りに悲惨な交通事故に遭ってしまう…。リージの最高作と言われるロード・ムービー的悲喜劇。



43 「革命前夜」

(1964年・111分・パートカラー)

Prima della rivoluzione

監督/ベルナルド・ベルトルッチ

出演/アドリアーナ・アスティ、

フランチェスコ・バリッリ、

アンレン・ミジェット

スタンダールの「バルムの僧院」とフロベールの「感情教育」を下敷きにした、若きベルトルッチの自伝的な青春映画。カンヌ映画祭新進批評家賞。



47 「危険分子たち」

(1967年・日本未公開・97分)

Sovversivi

監督/パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ

出演/ジュリオ・フロージ、

マリヤ・トチノフスキ、

ルーチョ・ダッラ

イタリア共産党の指導者トリアッティの葬儀に参列した4人の共産黨員―それぞれの人生と苦悩を描いたドラマ。巨匠タヴィアーニ兄弟のデビュー長篇。



51 「醜く、汚く、意地悪く」

(1976年・日本未公開・105分・カラー)

Brutti sporchi e cattivi

監督/エットレ・スコーラ

出演/ニーノ・マンフレディ、

マリア・ルーイーザ・サンテッラ

ローマのスラム街を舞台に、大酒飲みで片目のジャチントを家長とする大家族のどん底生活を描いた喜劇。カンヌ映画祭監督賞受賞。ニュープリント。



40 「山猫」

(1963年・185分・カラー)

Il Gattopardo

監督/ルキノ・ヴィスコンティ

出演/ハート・ランカスター、アラン・ドロン、

クラウディア・カルディナーレ

19世紀イタリア統一戦争を背景に、シチリアの老貴族とその一族の人間模様を描いた叙事詩大作。1963年カンヌ映画祭グランプリ。撮影監督ジュゼッペ・ロトゥンノの協力によって1991年から進行中の最新復元版を上映。



44 「ポケットの中の握り拳」

(1965年・108分)

I pugni in tasca

監督/マルコ・フェッレーリ

出演/ルー・カステル、

パオラ・ピタゴーラ

北イタリアのピアチェンツァの一家で、母親や弟を次々に殺害する若者の姿を描くベロッキオの衝撃的なデビュー作。ロカールノ映画祭銀狼の帆賞、リオ・デ・ジャネイロ映画祭シネマ・ノーヴォ賞を受賞。ニュープリント。



48 「男と5つの風船」

(1964-68年・日本未公開・86分・パートカラー)

Break-up

監督/マルコ・フェッレーリ

出演/マルチェロ・マストロヤニ、

カトリーヌ・スパーク

風船に取り憑かれた男を描く、フェッレーリ流“詩的グロテスク”の頂点。長篇として撮影された本作は、オムニバス映画「今日、明日、明後日」のエピソードとして公開された4年後、当初予定の完全版が作られた。ニュープリント。



52 「ローザのチャンス」

(1981年・日本未公開・89分・カラー)

Le occasioni di Rosa

監督/サルヴァトーレ・ピシチェリ

出演/マリナ・スーマ、

アンジェロ・カンナヴァッチュオロ

ナポリで女子工員をやめて娼婦になったローザには婚約者がいた。そこへ同性愛者ジーノが現われ、子供を産んでもらいたいと彼女に持ちかけるが…。ロカールノ映画祭で銀賞を受賞した後英ピシチェリの第2作。



41 「婚約者たち」

(1963年・日本未公開・76分)

I fidanzati

監督/エルマンノ・オルミ

出演/カルロ・カプリニ、

アンナ・カンツィ

倦怠期を迎えた婚約者のカップル、ジョヴァンニとリリアーナ。工員のジョヴァンニはミラノからシチリアへの転勤をきっかけにリリアーナへの愛を確認する。個人の繊細な感情を表現するオルミのタッチが発揮された作品。2000年復元。



45 「彼女のことはよく知っていた」

(1965年・日本未公開・115分)

Io la conoscevo bene

監督/アントニオ・ピエランジェリ

出演/ステファニア・サンドレリ、ニーノ・

マンフレディ、ウーゴ・トニッツィ、

ジャン＝クロード・ブリアリ

農村からローマに出てきたアドリアーナは職を転々とし、男たちの間を渡り歩きながら、最後には空しさを感じて投身自殺をする。1999年フィリップ・モリス・プロジェクトにより復元。



49 「トルコ人たちのマドンナ」

(1968年・日本未公開・125分・カラー)

Nostra Signora dei Turchi

監督/カルメロ・ペーネ

出演/カルメロ・ペーネ、

リディア・マンチネリ

前衛的な舞台演出家にして俳優であるカルメロ・ペーネの耽美的なデビュー作。ヴェネチア地方に住む小説家の幻想を描く。ヴェネチア映画祭審査員特別賞受賞。2001年復元。



53 「ユダの接吻」

(1988年・日本未公開・88分・カラー)

Il bacio di Giuda

監督/パオロ・ベンヴェヌーティ

出演/クラウディオ・バーキ、

ジョルジョ・アルグランティ

ストロープ＝ユイレの助監督を務めたベンヴェヌーティの第1回作品で、キリスト最後の日々とユダの裏切りを無駄のない手法で静かに描いた作品。

Grande retrospettiva del cinema italiano:

懐かしの名作から日本未公開の忘れられた傑作まで55本でたどるイタリア映画史

上映プログラム(第1期)

2001

1回目 平日15:00~/土・日・祝13:00~

2回目 平日18:30~/土・日・祝16:00~

11月	13日	火	40	山猫 (※13:00から上映)	
	14日	水	37	鞆を持った女	15 トトのイタリア自転車レース
	15日	木	7	いつまでも君を愛す	8 ナポリのそよ風
	16日	金	9	サルヴァートル・ローザの冒険	19 神の道化師、フランチェスコ
	17日	土		★講演会-1	16 にがい米
	18日	日	21	寄席の脚光	24 ウンベルトD
	20日	火	10	かしこまりました	11 アルファ・タウ!
	21日	水	12	マロンブラ	40 山猫
	22日	木	14	神秘の騎士	17 沼の上の空
	23日	金	20	ある愛の記録	30 わらの男
	24日	土	13	慈悲なき世界	22 ミラノの奇蹟
	25日	日	28	崖	23 ベリッシマ
	27日	火	18	春が来た	25 高校三年
	28日	水	26	こんなに悪い女とは	29 現代の英雄
	29日	木	22	ミラノの奇蹟	27 白い天使
	30日	金	24	ウンベルトD	37 鞆を持った女
12月	1日	土	7	いつまでも君を愛す	10 かしこまりました
	2日	日	9	サルヴァートル・ローザの冒険	8 ナポリのそよ風
	4日	火	20	ある愛の記録	21 寄席の脚光
	5日	水	13	慈悲なき世界	14 神秘の騎士
	6日	木	11	アルファ・タウ!	12 マロンブラ
	7日	金	15	トトのイタリア自転車レース	26 こんなに悪い女とは
	8日	土	27	白い天使	17 沼の上の空
	9日	日	18	春が来た	19 神の道化師、フランチェスコ
	11日	火	30	わらの男	7 いつまでも君を愛す
	12日	水	25	高校三年	16 にがい米
	13日	木	28	崖	9 サルヴァートル・ローザの冒険
	14日	金	29	現代の英雄	10 かしこまりました
	15日	土	11	アルファ・タウ!	14 神秘の騎士
	16日	日	15	トトのイタリア自転車レース	12 マロンブラ
	18日	火	8	ナポリのそよ風	13 慈悲なき世界
	19日	水	17	沼の上の空	18 春が来た
	20日	木	19	神の道化師、フランチェスコ	20 ある愛の記録
	21日	金	21	寄席の脚光	22 ミラノの奇蹟
	22日	土	25	高校三年	26 こんなに悪い女とは
	23日	日	40	山猫 (※12:00から上映)	37 鞆を持った女
	25日	火	23	ベリッシマ	24 ウンベルトD
	26日	水	27	白い天使	28 崖
	27日	木	29	現代の英雄	30 わらの男

★講演会-1は、チネテカー・ナチオナーレ所長アドリアーノ・アブラ氏を予定しています。入場は無料です。

●料金

	前売券			当日券
	1回券	5作品購入券	10作品購入券	1回券
一般	1,300円	5,500円	10,000円	1,500円
高校・大学生及び65歳以上	1,200円	4,500円	8,000円	1,400円
小学・中学生	800円	3,000円	5,000円	1,000円

高校・大学生及び65歳以上の方は、その証明となるものを必ずお持ち願います。



カビリア



ナポリのそよ風



にがい米



ミラノの奇蹟



こんなに悪い女とは



山猫



ユタの接吻

上映プログラム (第2期)

2002

1回目 平日15:00~/土・日・祝13:00~			2回目 平日18:30~/土・日・祝16:00~		
1月	8日 火	16 にかい米 (※13:00から上映)	1	されどわが愛は死なず	
	9日 水	23 ベリッシマ (※13:00から上映)	5-b	大女優チカラ・フォルミカ	
			5-a	妻たちとオレンジ	
	10日 木	2 カピリア (※13:00から上映)	4	王家の虎	
	11日 金	3-b/a 灰/アッスンタ・スピーナ (※13:00から上映)	6	聖なる夜に	
	12日 土	1 されどわが愛は死なず	2	カピリア	
	13日 日	4 王家の虎	3-b/a	灰/アッスンタ・スピーナ	
	15日 火	31 情事 (※13:00から上映)	4	王家の虎	
	16日 水	32 血ぬられた墓標 (※13:00から上映)	6	聖なる夜に	
	17日 木	33 イタリア万歳 (※13:00から上映)	5-b	大女優チカラ・フォルミカ	
			5-a	妻たちとオレンジ	
	18日 金	34 ヘラクレスの復讐 (※13:00から上映)	1	されどわが愛は死なず	
	19日 土	2 カピリア	3-b/a	灰/アッスンタ・スピーナ	
	20日 日	5-b 大女優チカラ・フォルミカ	6	聖なる夜に	
		5-a 妻たちとオレンジ			
	22日 火	35 シシリーの黒い霧	36	虎にまたがって	
	23日 水	38 オルゴソ口の盗賊	39	追い越し野郎	
	24日 木	41 婚約者たち	42	猿女	
	25日 金	43 革命前夜	44	ポケットの中の握り拳	
	26日 土	45 彼女のことはよく知っていた	46	続・夕陽のガンマン	
	27日 日	47 危険分子たち	48	男と5つの風船	
	29日 火	49 トルコ人たちのマドンナ	50	労働者階級は天国に入る	
	30日 水	51 醜く、汚く、意地悪く	52	ローザのチャンス	
	31日 木	53 ユダの接吻	31	情事	
2月	1日 金	35 シシリーの黒い霧	32	血ぬられた墓標	
	2日 土	34 ヘラクレスの復讐	36	虎にまたがって	
	3日 日	38 オルゴソ口の盗賊	41	婚約者たち	
	5日 火	39 追い越し野郎	33	イタリア万歳	
	6日 水	42 猿女	43	革命前夜	
	7日 木	44 ポケットの中の握り拳	45	彼女のことはよく知っていた	
	8日 金	46 続・夕陽のガンマン (※14:00から上映)	47	危険分子たち	
	9日 土	52 ローザのチャンス	49	トルコ人たちのマドンナ	
	10日 日	50 労働者階級は天国に入る	51	醜く、汚く、意地悪く	
	12日 火	48 男と5つの風船	53	ユダの接吻	
	13日 水	34 ヘラクレスの復讐	35	シシリーの黒い霧	
	14日 木	36 虎にまたがって	38	オルゴソ口の盗賊	
	15日 金	39 追い越し野郎	41	婚約者たち	
	16日 土	31 情事	43	革命前夜	
	17日 日	42 猿女	32	血ぬられた墓標	
	19日 火	45 彼女のことはよく知っていた	51	醜く、汚く、意地悪く	
	20日 水	47 危険分子たち	49	トルコ人たちのマドンナ	
	21日 木	50 労働者階級は天国に入る	48	男と5つの風船	
	22日 金	52 ローザのチャンス	46	続・夕陽のガンマン	
	23日 土	44 ポケットの中の握り拳	53	ユダの接吻	
	24日 日	☆講演会-2	33	イタリア万歳	

チケット購入方法

●各回定員(310席)、入替制、自由席です。開場は上映45分前、開映後の入場はできません。

●日時指定の前売券は11月14日~12月27日分(第1期)と1月8日~2月24日分(第2期)の2回に分けて発売します。

●前売り1回券の場合

第1期の1回券は、10月13日(土)から、第2期の1回券は、12月15日(土)からチケットぴあ(オペレーター電話予約☎03-5237-9999、Pコード電話予約☎03-5237-9966)で上映の2日前まで発売します。電話がつかない場合、チケットぴあSPOT及びファミリーマート(Pコードが必要)で直接購入することをお勧めします。ファミリーマートの発売開始は1日遅れることがあります。
*Pコードは 500-610

●前売り5作品・10作品購入券の場合

前売5作品購入、及び10作品購入は、異なる5作品または10作品分のチケットを格安で事前一括購入するもので、郵送での販売となります。第1期分は、住所(チケット送付先が異なる場合は送付先も)、氏名、電話番号、ご希望の作品名と上映日時を明記の上、9月20日(木)以降、9月25日(火)までに(消印有効)、往復はがき(〒104-8011朝日新聞社文化企画局映画係宛)またはFAX(03-3546-1894)にてお申し込みください。こちらより確認の返事が届きましたら、10月4日(木)までに指定の銀行口座に料金をお振り込みください。振込手数料はお客様のご負担となります。入金を確認後、チケットをお送りします(送料は主催者負担)。第2期分も同様に11月21日(水)以降、11月26日(月)までの消印有効の申し込み、12月6日(木)までの入金となります。5作品購入、10作品購入の申し込みは、各回200席までとします。200席を越す回があった場合は、抽選とします。

	第1期	第2期
申込み期間	9月20日~25日	11月21日~26日
	確認書到着後	確認書到着後
銀行振込み	10月4日締切り	12月6日締切り
	入金確認後	入金確認後
チケット発送	10月下旬	12月下旬

●前売券の払い戻し、変更はいたしません。ただし、同じ作品に限り、指定上映日の前日までに会場受付にて手続きをいただければ、ご希望の回に当日券と同じ列に並んで入場できます。満席の場合は入場できません。

●当日券は、上映45分前から発売します。ただし前売券が売り切れた場合は、当日券はございません。前売券の販売状況は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.asahi.com/event/italia/cineteca>

●一人で異なる20作品を見た方には、イタリア製のオードリー・ヘップバーンTシャツをプレゼント。会場にてチケットを提示ください。

無声時代から今日まで、わが国で途切れることなく人気を保ってきた世界の"三大映画国"といえ、アメリカ、フランス、そしてイタリアということになるでしょう。

そのイタリア映画は、スペクタクル史劇、艶笑喜劇などからマカロニ・ウエスタンにまで及ぶきわめて多彩なジャンルの広がりを持ち、ソフィア・ローレンやマルチェロ・マストロヤニに代表される国際スターを生みだしながら時代ごとに華やかな魅力をふりまいてきましたが、同時に、数多くの個性的な映画作家を輩出することによって、高い芸術的評価を築き上げて現在に至っています—— ロッセリーニ、デ・シーカ、フェリーニ、アントニオーニ、ヴィスコンティといった偉大なシネアストの名は、"イタリアン・ネオリアリズム"に始まったとも言える戦後の世界映画史に巨大な足跡をとどめています。

そうした巨匠たちの作品に、製作当時、日本には輸入されることのなかった隠れた傑作や問題作を多く加えた全55作品(53番組)を、3ヵ月にわたって連続上映する本特集は、現存する最良の35mmフィルムによってイタリア映画史の全体像を体験することのできる空前絶後の機会となるでしょう。

ロッセリーニが仕事をしているのを見ていくうちに、生まれて初めて、しかも唐突に、私ははっきり理解したのだ。作家が文章を書くように、画家が絵を描くように、ごく個人的で直接的なやり方で、映画も作れるものだ。と。 **フェデリコ・フェリーニ**

純粋な視覚の優位を説いたネオ・リアリズムは、絵画において視覚だけで空間を征服した印象派と同じくらい重要だろう。 **ジル・ドゥルーズ**

イタリア映画くらいサイレントの昔からロマンを語って心にしみこませる国も珍しい。 **淀川長治**

「ネオ・レアリズム」の作家たちは、イタリア人だけが持つ孤独な精神、厳格な現実直視の目、深いヒューマンな思想で、戦中戦後のイタリアの社会と人間とを描き抜いていった。 **増村保造**

偉大なる イタリア映画！

どうしてイタリア映画はかくも偉大になることができたのか、ロッセリーニからヴィスコンティ、アントニオーニからフェリーニに至る誰もが映像と音を同時に録っていないというのに。答えは一つだ。オウィディウスやウェルギリウス、ダンテやレオナルドの言葉が映像を通過したからだ。

ジャン＝リュック・ゴダール

イタリアの都市は、古いものでも新しいものでも驚くほどフォトジェニックである。…その上に太陽と雲のないことをつけ加えれば、都会での野外撮影におけるイタリア映画の優位性が明らかになる。

アンドレ・バザン

戦後イタリア映画の、生き生きとした群衆描写が私は大好きだ。…「苦い米」で働いたり踊ったりする出稼ぎの農婦たち…。 **武田泰淳**

Grande retrospettiva del cinema italiano: dal muto agli anni 80

日本における
イタリア年 **イタリア映画大回顧**

2001年11月13日(火)～2002年2月24日(日)

東京国立近代美術館フィルムセンター

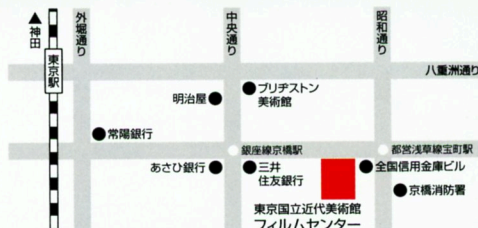
問い合わせ ☎03-3561-0825(フィルムセンター 9月4日(火)以降、11:00～18:30/月曜日)

日本における
イタリア
2001
ITALIA IN
GIAPPONE



Centro sperimentale di cinematografia
SNG
fondazione
SCUOLA NAZIONALE DI CINEMA
Cineteca Nazionale

BNL
Banca Nazionale del Lavoro



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
営団地下鉄●銀座線「京橋駅」下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄●浅草線「宝町駅」下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分